例えば，「教科通信を活用したオンライン社会科の学び支援」，「オフラインで学びを届ける！：子どもたちの提出課題と向き合って見えてきたもの」，「分散登校で見えてきた教科・学年連携の意義と課題：SNSで教科部会をつなげる！」，「オンラインによる動画配信の落とし穴：生徒には動画はどう見えている!?」，「オンラインで校内研修が変わる！：まずはオンラインで集まってみるところから」，などです。

「教科・領域・ジャンル」の「領域」は，「総合的な学習／探究の時間」などを想定しています。「ジャンル」としては，「オンラインによる校内研修」や「オンラインによる体調・生活状況の確認」など，教科・領域におさまらない教育実践を想定しています。「所属」のところは，記載可能な範囲でご記載いただいて構いません

タイトル

氏名（所属）

学校種

教科・領域・ジャンル

　ここには，報告する実践の概要を記してください。

　３つの見出しは，一例です。実践報告風で結構です。

**１．直面したお困りごと**

**２．お困り解決実践－●●を使って●●をした**

**３．手ごたえと課題**

　図や資料，表などは，ここには１~３の枠を用意していますが，数や枠の大きさなど，自由に変更していただいて構いません。

写真や資料などを掲載してください

図１：図のタイトル

　図や資料を活用される場合は，できるだけ実物をお示しください。プリントや動画，取組のようすの写真，シラバスや課題への応答など，先生方の実践の「具体」をご紹介ください。

写真や資料などを掲載してください

図２：図のタイトル

本文は，時間をかけて文章を練り上げていくよりも，実践の記録や当事者の心情をリアルに記述してください。あるいは，掲載した写真や資料を解説してください。

　セミナーにご参加いただいているみなさまの現在進行形の実践に,是非,われわれEVRIから応答させてください！！！

　実践報告を「書いて,出しっ放し」にはいたしません。次回のセミナー（6月13日）で取りあげさせていただくとともに,なんらかの媒体での実践報告として形にできるよう,大学・研究機関としての役割を果たしていきたいと考えております。

　子どもとともに「教育」を生きるみなさまの実践報告が,われわれ教育学研究を後押ししてくださいます。またわれわれも,教育学研究が実践の後押しをできるように,精一杯セミナーの運営を通じて応答してまいります。

写真や資料などを掲載してください

図３：図のタイトル

　次回のセミナーでもみなさまとお会いできますこと,楽しみにしております。